

**大学名** 電気通信大学

第69号 特集テーマ「国立大学のこれから」

**表題** 共創進化スマート社会(Society5.0)を担うデジタル人材を育成する一体的な入試・教育改革

電気通信大学では、教育未来創造会議第一次提言において指摘されている学生の理系離れやDX人材不足、国際競争力低下を解決するため、入試と教育を一体的に改革し、共創進化スマート社会(Society5.0)を担う型破りな人材を育成します。

**教科「情報」・CBT入試の実施**

2025(令和7)年度入試から科目「情報I」を選択科目として導入することとし、他の国立大学に先駆けて公表しました。学生の選択肢を増やすことで、「情報」に対する高い素養を持った人材を積極的に受け入れます。同年度から情報理工学域I類(情報系)の総合型選抜及び学校推薦型選抜においてCBT(Computer Based Testing)を活用した「情報I」を含む入学試験を実施します。CBTでは、実際にプログラムを編集・実行しながら回答を求める問題や実データを分析して回答を求める問題など、従来の試験では測定できない能力を評価します。

**デザイン思考・データサイエンスプログラム(D×2(デンツー)プログラム)による型破りな人材の育成**

2023(令和5)年度から情報理工学域I類(情報系)と情報理工学研究科(博士前期課程)に学部・修士一貫の「デザイン思考・データサイエンスプログラム」を設置しました。本プログラムは、応用基礎レベルのデータサイエンスに、ユーザー視点で課題解決を図るデザイン思考を融合させた、工学系初のプログラムです。著名データサイエンティストから直接学ぶ合宿形式の「ブートキャンプ」をはじめ、Kaggle(世界的機械学習競技会)で高位を目指す「Kaggle講義」など独特で特徴的な教育を展開します。2024(令和6)から入学定員を学部(学域)では30名増加させ45名、修士では10名増加させ20名とします。今後は博士課程まで設置し高度人材を育成します。

